

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2006-327507
起案日	平成22年 3月23日
特許庁審査官	速水 雄太 3365 5S00
特許出願人代理人	小池 晃(外 2名) 様
適用条文	第29条第1項、第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出してください。

理 由

A この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明であるから、特許法第29条第1項第3号に該当し、特許を受けることができない。

B この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

理由Aについて

請求項：1

引用文献：1

備考：

引用文献1には、通信経路を介してデータ送信装置（スクランブラ101）からデータ受信装置（デコーダ）に伝送するデータの制御を行うものであって、上記データ送信装置でデータを暗号化し、当該暗号化したデータ（SVo）を上記受信装置に上記通信経路を介して伝送するデータ伝送制御方法において、暗号鍵を用いて上記データの上記暗号化を行うデータ暗号化工程と（【0010】）、上記暗号化したデータに当該データの暗号化に使用した上記暗号鍵に関する暗号鍵情報（Transport_scrambling_controlフィールド）を付加して、上記データ送信装置から上記データ受信装置へ送信するデータ送信工程と（【0016】－

P.2

【0021】）、上記データ受信装置において受信した上記暗号化されたデータを復号するための復号鍵を複数（Evenキー、Oddキー）有し、頻繁に更新される前記復号鍵から上記暗号化されたデータに付加されている上記暗号鍵情報について選択される一の復号鍵により、上記暗号化されたデータを復号化するデータ復号化工程（【0028】）とを有することを特徴とするデータ伝送制御方法、が記載されている（【0002】－【0035】、図1－6参照）。

請求項：2

引用文献：1

備考：

引用文献1には、上記複数の復号鍵は、受信される暗号化されたデータの復号化に現在利用可能とされる復号鍵及び受信される暗号化されたデータの復号化に

部長／代理

審査長／代理
青木 重徳
4 2 2 9

審査官
速水 雄太
3 3 6 5

審査官補
